

開催日時：2003年7月9日（水） 13：30～17：00

場 所：ピアザ淡海 3階 大会議室 参加者数：委員 12名

1 決定事項

- ・次回は7月18日(金)13：30～16：30に部会として開催する。
- ・委員は次回部会(7/18)に向けて、今日の議論をふまえて各検討班の論点について引き続き意見を提出する。締め切りは7月15日。
- ・委員持ち込みの新聞記事に記載されているダム事業撤退ルールについて資料を河川管理者に依頼する。

2 検討内容

委員会、他部会の状況報告

説明資料（第2稿）の検討について

）各班の状況報告および意見交換

作業部会の水位、連携、ダムの検討班毎の検討状況について報告がされた後、水位班とダム班に分かれて審議がおこなわれ、最後に全委員での意見交換がなされた。

<主な意見交換>

全体

- ・まず、班別の検討を行わない「連携班」の部分について、“実施する事業の他の主体と連携が必要なものについて検討が必要”“滋賀県による「淡海の川づくり委員会」と琵琶湖部会との連携”等の意見交換を行った。その後“住民が必要としているのはダムなのか道路等の周辺整備なのか明らかにすべき”“湖底への影響について専門家を集めた検討の場を設けるべき”等のダムについての意見が出された。

水位班

- ・リーダーから論点と委員からの意見について報告があり、その後“本来の水位変動とは何かを検討すべき”“ダムをつくって琵琶湖の水位低下を緩和するのは対処療法だ”との否定的な意見が多かった”“琵琶湖の環境のために下流の人にある程度の渇水を我慢してもらうのであれば、琵琶湖周辺の人にはある程度の浸水を我慢してもらうことも考える必要がある”等の意見が出された

ダム班

- ・リーダーから、意見をもとにした論点の説明があり、それらに“直轄外のダムについても言及すべき”“ダムをつくらない場合のダムの機能に対応した代替案の提示を”“ダム建設による漁業への影響を検討すべき”等の論点を追加し、意見を募集することとなった。

）次回部会の内容および今後の予定について

部会長より、地域部会としての意見を提出するのは第24回委員会(9/5)だが、同委員会に出される原案(案)に反映してほしい意見はこれに間に合うよう次回部会(7/18)で提出するよう要請があった。

以上

このお知らせは委員の皆様にご覧の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」を参照下さい。